

第3学年 道徳学習指導案

平成24年6月12日(火) 第5校時

指導者 教諭

在籍児童数 35 名

- 1 主題名 命の大切さを感じよう [3-(1) 生命尊重] 関連 2-(1) 礼儀
4-(3) 家族愛
資料名「 家族のアルバム 」 (出典 埼玉県道徳教材資料集 (彩の国のどうとく))

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目 3-(1)「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。」ことをねらいとしている。本時では、生命の大切さに関するものとして、自分と同じように友達も育ててきていること、家族に大切にされてきたことに気付き、自他共に生命を大切にする児童を育てることをねらいの中心にしている。

本題材の内容項目を中学年のこの時期で考えると、自己中心的な言動が多い段階ではあるが、他人を認めようとする力も徐々についていく時期でもあると考えられる。誕生の話から生を受けたことのすばらしさや家族の喜びを通して生命の尊さに気付かせていきたい。また、言葉の大切さや家族によって自他ともに人は支えられていることをも意識させ、道徳的な心情や実践意欲を高められるようにしていきたい。

(2) 児童の実態について

本学級は、素直で人懐こく個性的な児童が多い。男女で協力して活動できることが多く、学校内だけでなく放課後一緒に遊ぶ姿もあり仲がよい。書写の時間に墨液をこぼしてしまったり、給食の片づけが遅れてしまったりした時に、誰もが進んで手助けしている様子も見られる。動植物の観察や世話が大好きで、理科や総合学習での活動に熱心に取り組み、気付いたことをよく報告してくる。朝の会でのスピーチや担任との会話の中で家族の話がよく出てくることから、家庭での様子をうかがい知ることできる。しかし、児童は自己中心的であることも少なくはなく、また、言葉の使い方や態度から誤解が生じたりすぐに謝れなかったりすることから、トラブルになることもある。気持ちとは反対に上手く行動に移せずいたり、普段から活発な子が自分から友達を誘えなかったりする児童もいる。

そこで、児童の実態を把握するために、次のような意識調査を行った。

意識調査 (5月29日実施 男子18名 女子16名 欠席1名)

1 友だちとけんかをしたことがありますか。

ある 24名 ない 10名

① どんなことでけんかをしたのですか。

- ・いやなことをされた (言われた) ので
- ・自分がやろうとしていたことを先にとられたから
- ・押してきたから ・うそをつかれて ・物の取り合い
- ・わがままを言ってきた ・意見が合わなくて
- ・言った言わないになって ・待ち合わせ場所を勝手にかえられて
- ・私は見せてあげたのに、見せてくれなかった
- ・自分がちょっかいを出して ・内緒の話を言いふらされて

② 友だちとけんかをしたとき、どんな言葉をつかいますか。

- ・ばか ・あほ ・ふざけるな ・もういいよ ・やめて ・きらい
- ・何すんだよ ・これでいい ・うるさい ・このやろう ・最悪
- ・死ね ・あっそ ・もう知らない

③ けんかの後、どんな気持ちですか。

- ・嫌な気持ち 12 ・悪かったかも… 3 ・いらいらした 3
- ・相手の気持ちが気になった 2 ・もやもやした 2 ・後悔 2

2 友だちにいやなことをされたことがありますか。

ある 23 ない 11

- ・悪口 (ばか、あほ、男のくせに、ださい、おばさん、オラウータン、じじい、死ね)
- ・物をとられた ・「あなただれ」と言われた ・列にわりこみされた
- ・むこうがやったのに、人のせいにする ・ぶつ ・ける
- ・くつをふまれる ・かんちょう ・強い口調 ・しつこい

3 友だちにいやな思いをさせてしまったことがありますか。

ある 15 ない 19

- ・いやなこと、嫌がる言葉を使った
- ・乱暴 ・強い口調 ・悪口 ・物にあたる ・物をとる

4 言われてうれしくなる言葉

- ・ありがとう 29 ・ごめんね 7 ・一緒に遊ぼう 5 ・すごい 5
- ・大好き 2 ・がんばって 2
- ・やさしいね ・親切だね ・サンキュー ・ナイス ・おはよう
- ・上手 ・うまい ・かしてあげる ・友だちだよ ・大丈夫

5 「生きている」ってどんなことですか。

- ・楽しいことやかなしいこと、うれしいなどいろいろあること
- ・成長できること ・ご飯を食べられたり飲んだりできること
- ・話ができること ・遊べること ・いろんな人と出会うこと
- ・手や足が動かせること ・自分や家族を大切にすること
- ・頑張ること ・あいさつをすること ・けんかをすること
- ・自然に親しむこと ・学べること ・大変なこともあること
- ・命を守ること

6 大切にしていることは何ですか。

- ・家族 22 ・友だち 15 ・命 7 ・お金 4 ペット 4
- ・自分 2 ・物 4 (グローブ、DS)
- ・アルバム ・あいさつ ・けんかをしないこと ・ありがとう
- ・気持ち ・自分で決めたこと ・スポーツ ・畑 ・日本

以上の「人権尊重を考えた生命」に関するアンケート結果から本学級の児童の様子が見えてきた。

質問1では、私が考えるより友達間の対立経験が少なく驚いた。けんかの経験がないわけではないだろうが、あまり感じていない結果かもしれない。けんかをしたことについて、友達をせめるのではなく、自分の言動を振り返っている児童も少人数ではあるがいることがわかった。また、自分の感情のままに、相手を傷つける言葉や生命についても軽々しく口にしてしまう児童もいる。

質問2、3では、友達からいやなことをされた経験はあっても自分がしてしまったと感じることが少ないのは、相手のことを考えられず自己中心的な考えであることがわかる。自分がされたいいやなことでも自分は相手にしてしまう、誰かに立ち止まって指摘されなければ相手にとっていやなことなのだという認識が弱い。

質問4では、うれしくなる言葉を意識させてみた。自分が言われてうれしいことは相手にとってもうれしいことであること、その反対に自分が嫌だと思えることは相手にとってもいやなことであることに気付かせていきたい。うれしい言葉を知ってはいるものの、自分がしてしまったことについ

ての謝罪や反省の言葉はすぐには出てこない。今回の資料を通して、理解したことが実践に結びつくよう意識を高めていきたい。

質問5では、生命や生きていることについて、理解してきていることが分かった。生きていることは、楽しいことばかりではないが、だからこそ成長していけるのだということや成長の喜びに気付かせていきたい。

質問6では、大切なものが家族や身の回りにいる人であると感じる児童が多いことが分かった。それは、生きる上で大切であることを感じとっているからであろう。本資料を学ぶことによって自分を支える家族や友達についても主人公を通して考えさせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、命は大切だと知りながらも、相手を傷つける言動をとってしまう児童がいる本学級の児童にとって適した資料である。主人公「たくや」はぶつかってきた「なおき」に対して怒りがおさまらず「死んじゃえ。」と言ってしまった。「たくや」の気持ちに共感させ、母の様子や父の話から自分への思いや自分が生まれてきたことをたくさんの人が喜んでくれたことを知り、命を大切にしようとする気持ちを育てたい。

児童は、命や家族が大切だと感じてはいるものの、自分の感情に任せて平気で相手を傷つける言動をとってしまう。また、その場の雰囲気流されてふざけ過ぎて結果的に相手にけがをさせてしまうこともあった。社会には、希薄な人間関係が原因で、心の成長ができずに、生命尊重を無視した事件も起きている。誰もがもっている生命の大切さ、礼儀、家族愛など、主人公を通してこれからの生き方について考えさせていきたい。そして、人は自分一人で生きているのではなく、周囲に支えられて生きていることや生命の大切やすばらしさについて、生命あるものすべてを大切にしようとする心を育てていきたい。

3 研究テーマとのかかわり

本校の研究主題

『人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする児童の育成』
～温かい人間関係を通して、心と体のよりよい発達を目指す～

○中学年のテーマ

「友だちの考えに耳を傾けながら、自分の思いを素直に表現し合い、より深く自己をみつめることができる道德の時間」

〔視点1〕児童の実態を生かした工夫

- ・アンケートの結果を知らせ、めあてにせまるための意識を高める。
- ・意図的指名によって、より学級の実態に即した授業を展開する。
- ・児童一人一人の実態を把握し、アンケートや感想カードへの記入を通して児童の変容を確認する。

〔視点2〕話合いを深めるための工夫

- ・物語の中の「たくや」に児童が共感できるように場面絵や短冊を活用する。
- ・児童が心に残ったところをもとに、話合いを進めていく。
- ・ワークシートを事前に配布しておき、児童の考えを記入させ発表に生かす。

〔視点3〕「自己を見つめる」時間の工夫

- ・終末に自己を振り返る時間を取り入れ、今までの自分について振り返るとともに自分自身に話題を返し、実際の生活上に返って考えさせる。
- ・自分の小さかった頃の写真をスライドにして見せるとともに、家族の思いが書かれた手紙を聞き、みんな大事にされていることを確認し、自他共に大切にしていこうという気持ちを高めさせる。

4 本時のねらい

命の尊さを感じ取り、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

5 学習指導過程

段 階	学習活動 ・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価	時間
導 入	<p>○意識調査の提示 アンケートの結果を聞く。</p> <p>○本時の学習課題を明確にする。</p> <p>・今日は命の大切さについて考えていきましょう。</p>	<p>・アンケートの結果を聞き、学級の友達がどのように考えているのかを知る。</p>	<p>・学級の実態を知らせることで価値の方向付けを図る。</p> <p>・本時の観点を児童に伝え、本時の方向性を示す。</p> <p>・本時の課題について話し合おうとする意欲をもたせる。</p>	2分
展 開	<p>○資料について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主人公…たくや 友達…なおき 母 父 条件・状況 ・昼休みに、飛び出してきたなおきとぶつかったころぶ。 ・けんかになり、「死んじゃえ」と言ってしまう。</p> </div> <p>○教師の判読を聞く。</p> <p>○心に残ったところに</p>	<p>・登場人物の条件、状況を知る。</p>	<p>・条件、状況を理解しやすいように人物絵や短冊を活用する。</p> <p>・主人公の気持ちを考えながら聞くようにさせる。</p> <p>・心に残ったところを児童に発表させ、それをもとに柱立てをしていく。</p> <p>・話の展開がわかりやすくなるように絵やカードを活用する。</p>	8分

展 開 る	深 め る	<p>線を引く。 ○学習の方向性を確認する。</p>		<p>★主人公の気持ちを考えてみたいという意欲がもてたか。</p>	
		<p>○主人公「たくや」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>1 「おまえこそ、死んじゃえ。」と言ったときの気持ちを考えよう。</p> <p>・たくやを心配するお母さんの気持ち</p>	<p>・ぶつかってきておいてなんだよ。 ・なんであやまらないんだ。 ・そっちからいつてきたんだから、ぼくはわるくない。</p> <p>・何かあったのかしら。 ・死んじゃえなんてどうしていったの。 ・しんぱいしているのよ。</p>	<p>・自分だったらどうしてしまいか考えさせる。 ・怒りがおさまらず、言葉がエスカレートしてしまったたくやの気持ちに共感させる。</p> <p>★けんかになってしまった主人公の気持ちに共感できたか。</p> <p>・「ランドセルを思いっきりほうり投げた」「別に」「小さな声」「お母さんには関係ない」をキーワードとして家族にも心配をかけていることに気付かせる。</p>	5分
		<p>2 家族の写真を見ながらお父さんの話を聞いたときの気持ちを考えよう。</p>	<p>・死んじゃえなんていつてわるかったな。 ・生まれてきた時、みんなよろこんでくれていた。 ・ぼくもなおきくんも大切にされている。</p>	<p>・自分の生命だけでなく、なおきくんの生命についても考えるたくやの心の内を深く考えさせる。</p> <p>★お父さんの言葉から、自分もなおきくんも同じように大切にされていることに気付いたか。</p> <p>・生命がかけがえのないものであることに気付き、お互いの生命を大切にしていこうという前向きな気持ちを押さえる</p>	15分
	<p>3 「行ってきます」と元気よく学校へむかうときの気持ちを考えよう</p>	<p>・なおきくんにあやまるよ。 ・なかなかおりしてくるよ。 ・もう、死んじゃえなんていわないよ。 ・自分も友だちも同じ。</p>	<p>★自他の生命の大切さに気付き、生命を大切にしていこうとする気持ちが高まったか。</p>	4分	
	みつめる	<p>○今日の学習を振り返って、思ったことを書きましよう。</p>		<p>・今までの自分自身を振り返って書かせる。</p>	8分
終末	あたためる	<p>○家族との写真を見ながら、家族からの手紙を聞く。</p>		<p>★家族の思いを知り、誰もが大切にされているのを感じて、自他共に生命を大切にしていこうとする心情を深めることができたか。</p>	3分

6 評価の観点

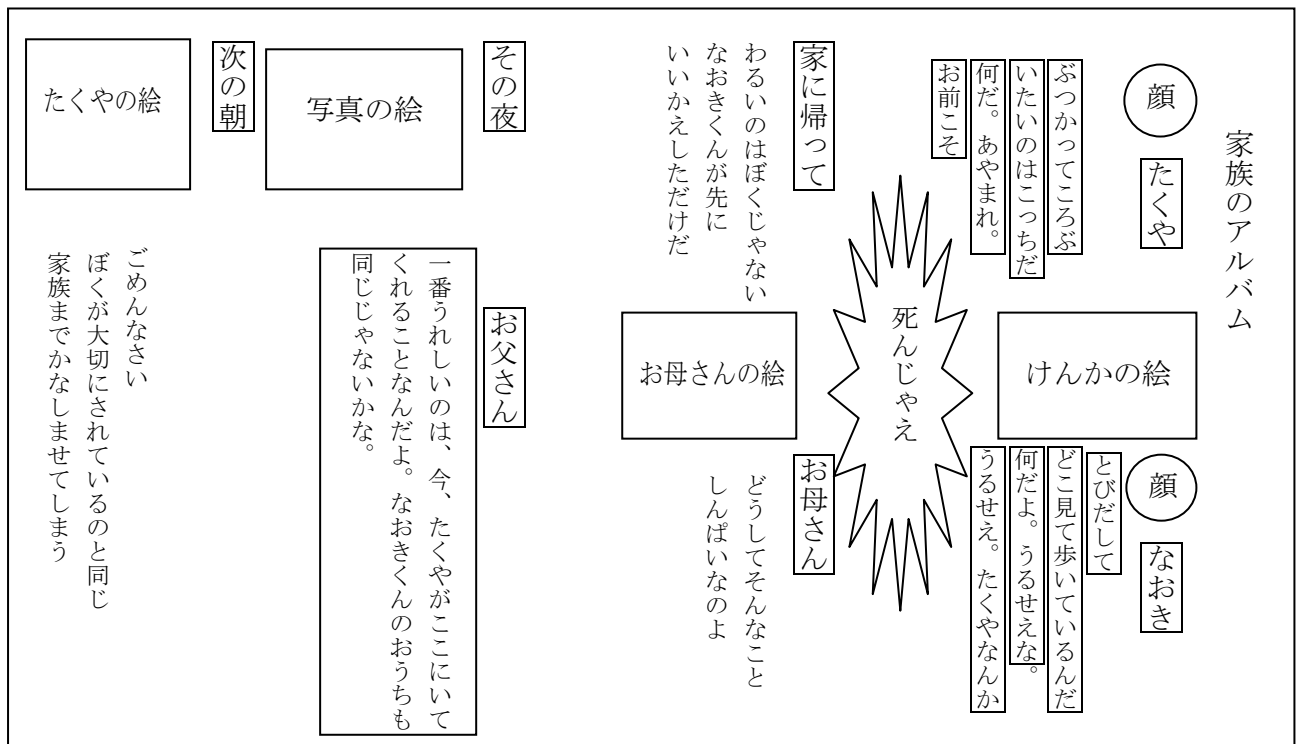
○児童側の観点

- ・主人公の気持ちに共感して、自分なりの考えをもつことができたか。（発言・観察）
- ・生命を大切にすることは、自他共に大切にしたい言動であることに気付き、これからの生活につなげようという意識が高まったか。（振り返りシート）

○教師側の観点

- ・児童が主人公の気持ちに共感できるような授業の展開ができたか。（発言・観察）
- ・児童が考えを深めることができるような発問や声かけができたか。（発問・観察）
- ・授業を通して、児童がどんな気付きを得られたか、適切に評価することができたか。（振り返りシート）

7 板書計画



8 資料分析

スタートの条件・情況

- ・昼休み、教室にもどろうとしたぼくは、飛び出してきたなおきくんとぶつかってころんでしまった。
- ・なおきくんとけんかになり「死んじゃえ」と言い合う。

登場人物

- ・主人公 ぼく（たくや）
- ・友達のなおきくん
- ・お母さん
- ・お父さん

《時間的・空間的場面》

《 キーワード ・ 主人公の感情背景 》

たくや

なおき

お母さん・お父さん

昼休み、教室にもどろうとして

「ぶつかってきたのはなおきくんだろ。あやまれ。」

「どこ見て歩いてんだよ。」

「うるせえな。」

思わず言い返す

「死んじゃえ」

学校から帰って

むこうからぶつかっておいてぼくは悪くない。

「学校でなにかあったの。」

心配そうに

「別に、なんでもないよ。ほっといてくれよ。」

学校から帰ると、ランドセルをおもいきりほうり投げた。

「ほっとけないわよ。」

何度も聞く

小さな声

「えっ。」
「なおきくんが先に死んじゃえって言ったんだ。」

「たくやは言わなかったわよね。」

「お母さんには関係ないよ。もういいだろう。」

「たくや、聞いて…。」

2階へかけ上がった

なみだをうかべて、しずかに話

その夜、写真を見ながら

写真を見ながら静かに

「みんなどれだけ心配したことか。たくやが生まれた時は本当にみんなうれしかったんだよ。」

心の変容

ぼくをかこんで、みんなが楽しそうに笑っている写真

「一番うれしいのは、今、たくやがここにいてくれることなんだよ。なおきくんのおうちも同じじゃないのかな。」

次の日の朝

お母さんにあやまる

「行ってきます。」

元気よく

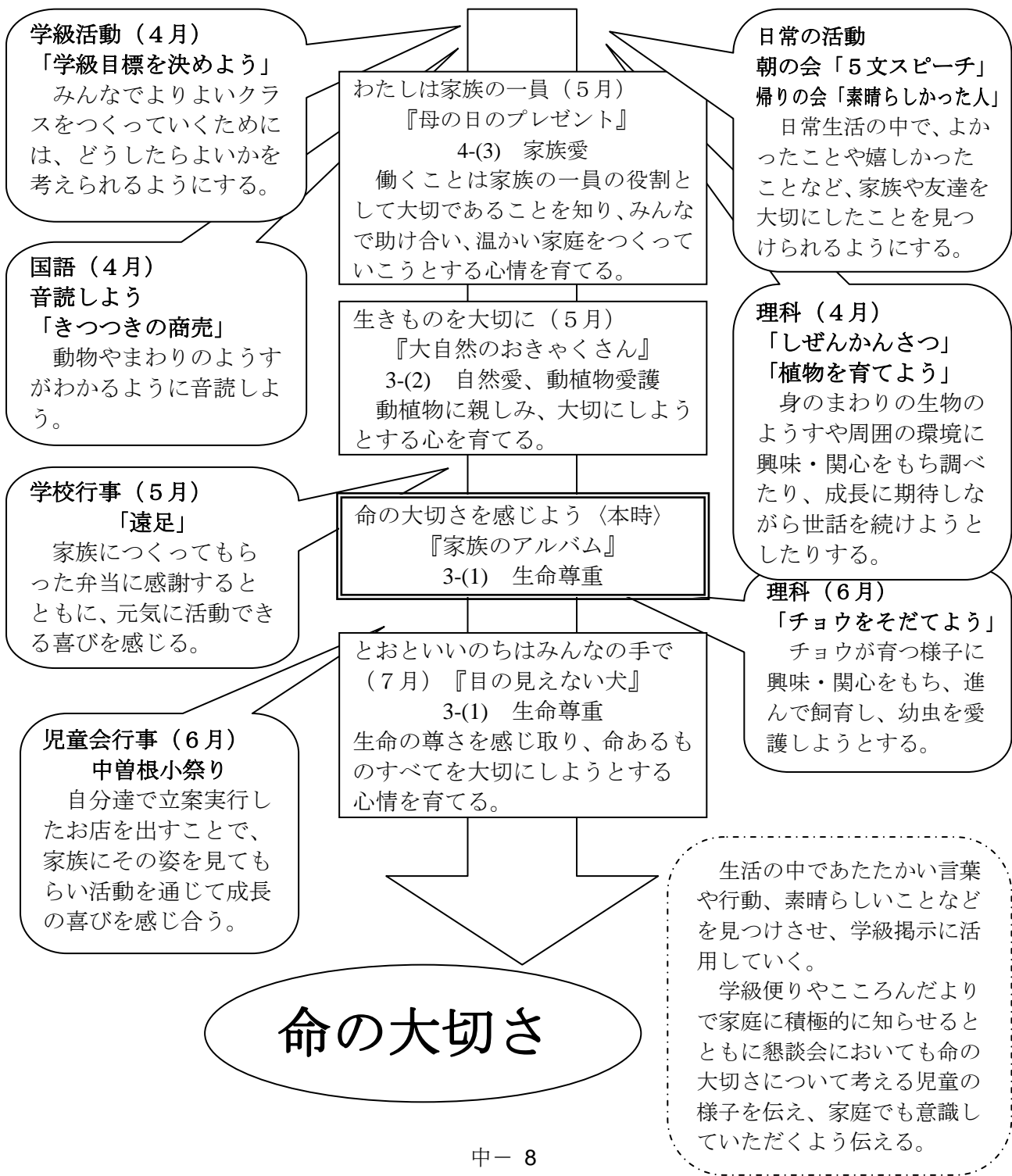
「いってらっしゃい。気をつけてね。」

笑顔で

総合単元名 命の大切さを感じよう(4月～7月) 3-(1) 生命尊重
2-(1) 礼儀 4-(3) 家族

ねらい：命の尊さを感じ取り、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

オリエンテーション
 ・本時の主人公の心情をどう思うか事前にカードに記入させて、学習意欲につなげる。
 ・道徳の時間だけでなく、他教科日常での活動などを通して命の大切さを感じ取らせ、命を大切にしようとする心情を育てる。



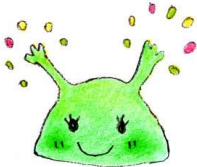
10 備考

こころんカード (振り返りカード)

こころんカード

月 日 名前 ()

☆今日の学習を通して思ったことを書きましよう。
(今までの自分はどうでしたか。これからがんばりたいことはありますか。)



The writing area contains ten vertical dashed lines for text entry.